

普及活動情勢報告（令和8年1月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

ユズの生産安定を目指して ～ J A高知県四万十ユズ生産部会出荷反省会～



12月18日、J A高知県四万十ユズ生産部会が出荷反省会を開催し、生産者20名が参加しました。

今作は、春先の着花量が少なかったことから、生産量の低下が懸念されていましたが、概ね平年並みの生産量を確保できました。

農業改良普及所からは、冬から春にかけての作業のポイントについて説明しました。

生産者からは「冬マシン油散布後から銅剤散布までは1ヶ月間隔をあける必要があること、銅剤は果実病害だけでなく幹腐病にも効果があることをおさらいできた。励行したい。」といった声が聞かれました。

農業改良普及所は、今後も管内のユズ安定生産を支援します。

ブランド米の収量・品質向上を目指して

～ J A高知県四万十エコ栽培米生産部会出荷反省会～



12月22日、J A高知県四万十エコ栽培米生産部会が出荷反省会を開催し、生産者15名が参加しました。

今作は天候に恵まれ、収量は前年より増加しましたが、夏期の高温及び斑点米カメムシの発生により等級は前年より低下しました。

農業改良普及所は、今作管内のほ場で散見された倒伏について、その種類別の原因及び対策を説明しました。

生産者からは、「折れる箇所や倒れ方に違いがあることを知り勉強になった」「次作も倒伏させないよう気をつけたい」との声が聞かれました。

農業改良普及所は、今後もJ Aと連携し、ブランド米の生産振興に取り組みます。

新規就農者の確保を目指して！ ～四万十町 就農相談会～



1月9日、四万十町役場で就農相談会を開催し、相談者4組5名の参加がありました。

当日は、漠然と就農を考えている方や、具体的な構想を持つ方など幅広い方の参加があり、関係機関が役割分担をしてそれぞれの状況に合わせた情報提供や提案を行いました。

農業改良普及所は、県事業の説明や品目選択に関する助言を行い、3組が就農について検討していくことになりました。

農業改良普及所は、今後も関係機関と協力して、相談者へのフォローを行い、新規就農者の確保を目指します。

中山間での良質米生産を目指して～ J A高知県幡多地区十和支所水稻栽培講習会～



1月13日、J A高知県幡多地区十和支所が水稻栽培講習会を開催し、生産者16名が参加しました。

農業改良普及所は育苗管理のポイントについて説明しました。生産者からは「浸種は7～10日かけてじっくり行う必要があること、育苗管理では温度管理が最重要であることをおさらいできた。励行したい。」といった声が聞かれました。

農業改良普及所は、今後も中山間地域の高品質米安定生産を支援します。

働きやすい環境整備を目指して ～就業規則策定講習会～



1月14日、農業担い手育成センターで環境農業推進課主催の就業規則策定講習会が開催され、農業者2名が参加しました。

農業改良普及所は、就業規則作成に興味のある方に講習会への参加を呼びかけました。また、講習会では、就業規則作成作業へのアドバイス等を行いました。

農業改良普及所は、今後、参加者へのフォローアップと、参加できなかった方への情報提供を行い、就業規則の作成を支援します。